

# まるおか

## 令和4年度決算の認定



### 目次

- 【特集】 令和4年度決算 . . . . . P2～3
- 一般質問 . . . . . P4～10
- 議会定例会 . . . . . P11
- 編集後記「だんだんなあ」 . . . . . P12

10月15日 山江村民体育祭

令和5年10月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

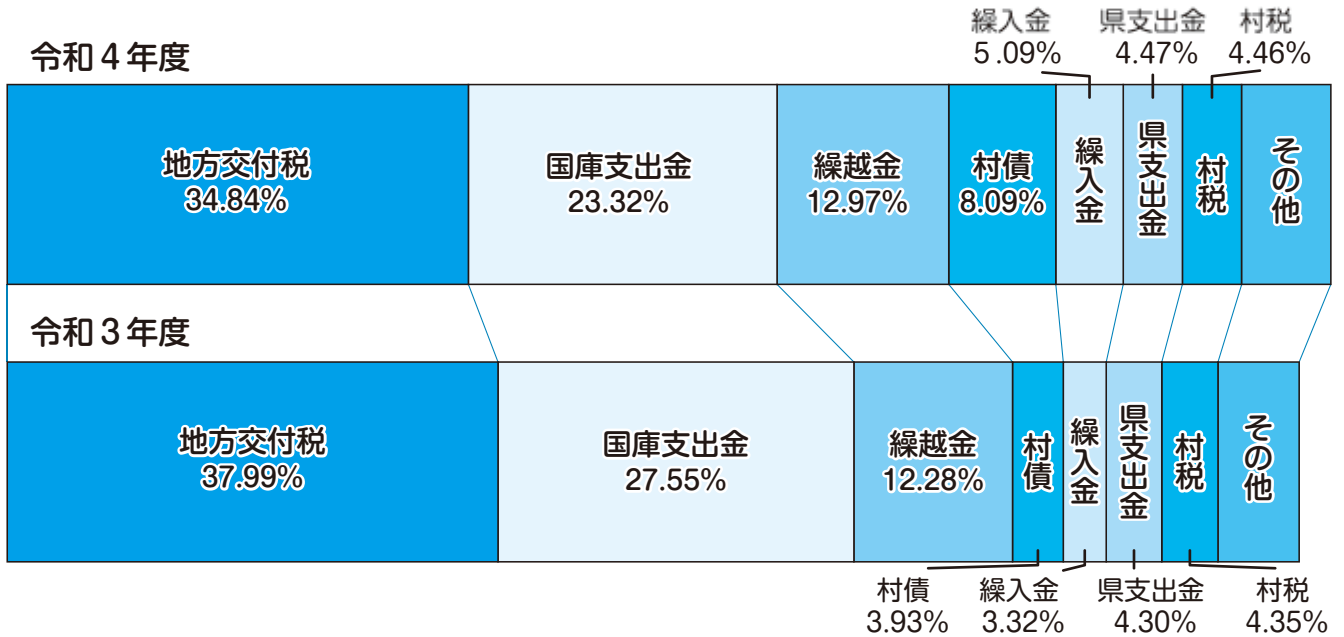
熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

# 【特集】

# 令和4年度決算を認定！

令和5年9月11日から15日まで、山江村議会9月定例会が開催され、その中で令和4年度一般会計及び特別会計決算を認定とし、昨年度を上回る決算となりました。昨年度決算との比較をしてみました。

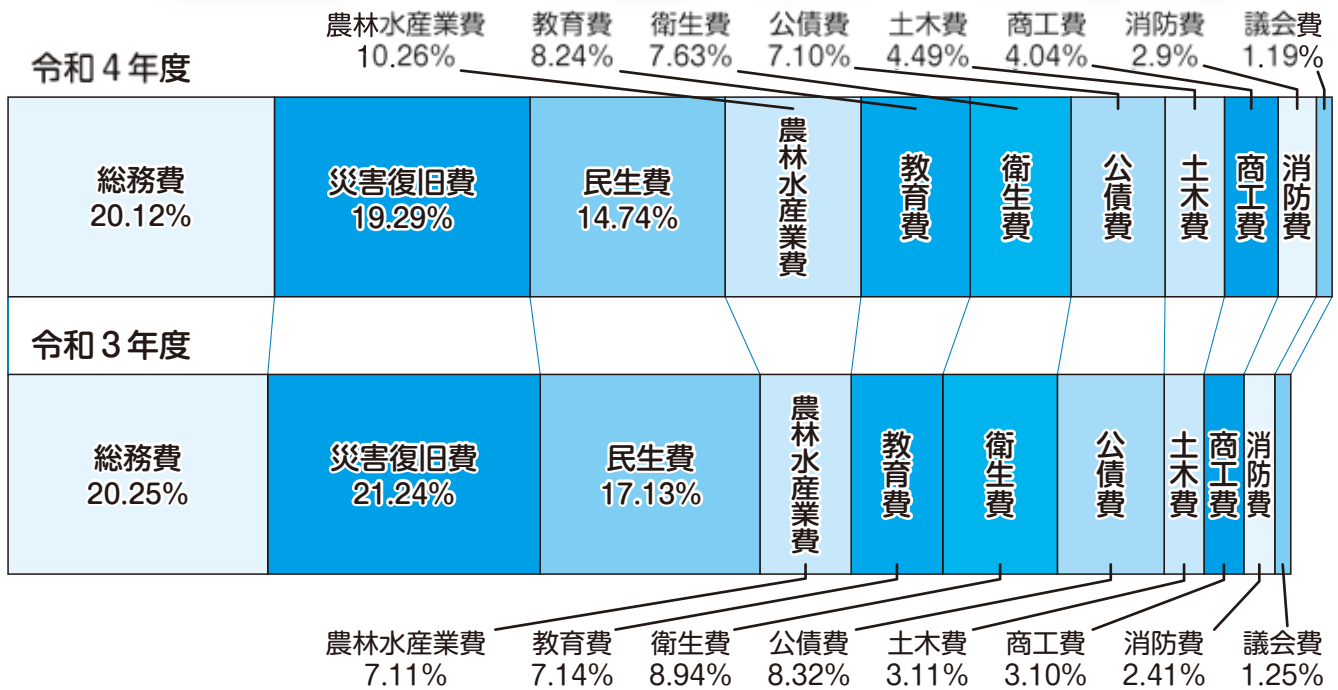
## 歳入 53億1,495万円



昨年度の歳入が51億8,763万円でしたので、1億2,732万円の増となりました。増額の主なものとして、村債が2億2,600万円の増（昨年度比210.9%）でした。主な名称の説明については以下の通りです。

項目	説明	令和4年度決算額
地方交付税	それぞれの市町村の財政格差を小さくするため、国から支給されるもの。使い道は自由。	18億5,171万円
国庫支出金 県支出金	義務教育や道路整備など特定の費用の一部として、国や県から支給されるもの。使い道が決まっている。	(国) 12億3,940万円 (県) 2億3,753万円
村債	国からの借入金。	4億2,990万円
繰入金	基金（いわゆる預金）等を一部取り崩し、繰り入れるもの。	2億7,081万円

# 歳出 46億4,318万円



※公債費・・・国から借入れした分の元利返済

昨年度の歳出が44億9,818万円でしたので、1億4,500万円の増となりました。増額の主なものとして、農林水産業費が1億5,677万円の増（昨年度比149.0%）、土木費が6,868万円の増（昨年度比149.1%）でした。歳入から歳出を差し引くと6億7,177万円（形式収支）となりまして、それから翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許等）が1,430万円ありましたので、それを差し引いた金額6億5,747万円（実質収支）が令和4年度決算となりました。尚、特別会計の収支については以下の通りです。

会計	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	4億456万円	3億7,955万円	2,501万円
簡易水道事業	1億7,801万円	1億7,462万円	339万円
農業集落排水事業	1億8,866万円	1億8,352万円	514万円 <small>（繰越明許6万円のため、実質は508万円）</small>
介護保険事業	5億1,475万円	4億6,968万円	4,507万円
後期高齢者医療事業	4,298万円	4,111万円	187万円
ケーブルテレビ事業	5,513万円	4,994万円	519万円





北田 愛介 議員



## ・人口減少問題に対する政策は ・災害復興の状況は 災害記憶の継承を

人口減少問題に  
対する具体的な  
政策を伺う

問

本村の人口は、昭和30年の6,766人をピークに減少を続けている。人口減少がもたらす課題はなにか。

答 企画調整課長

集落機能の維持問題があり、村道などの除草経費が200万円から1,300万円に増加した。

答 産業振興課長

農地の維持管理や生産水準の維持が難しくなる。

問

この人口減少問題を乗り切る具体的な政策はあるのか。

答 村長

1990年に制定され



た農業基本法が食料・農業・農村基本法として改正されようとしている。今後は、全国の市町村が地域計画を策定しなければならぬ。山江村では、農村、中山間地域を守るための計画を進める。その中で、仕事をどう作っていくのか、農村地帯の暮らしをどう守っていくのか、活力をどう上げていくのか、土地利用をどうするのか今後組織を作って検討を重ねる。

復興計画の進捗と  
災害記憶の継承を  
伺う

問

豪雨災害の復旧工事が進んでいるが、復興計画の実施状況は。

答 企画調整課長

植樹際の開催。自伐型林業塾への協力。森林基本計画の変更。ハザードマップの変更。環境教育交流活動を実施している。

問

災害記憶の継承を目的



今回改修された万江体育館

に、お金をかけずに、今回改修された万江体育館に災害資料や復興状況を展示して、情報発信の拠点として活用する考えはないか。

答 村長

9月10日に開催した災害訓練で万江地区においては30名近い方に避難頂いた。防災意識の高さを感じた。災害でどういったことが起きたのか。災害が起きた時にどういった行動をするか、啓発の資料展示もできればタイムリーである。十分検討をさせていただき実現に向けて取り組みたいと思う。



立道 徹 議員



## ・ケーブルテレビについて ・山江温泉ほたるについて

**問**

平成20年度に、地域情報通信基盤整備推進交付金事業の補助金にて、平成22年4月に開局し、現在に至っているが、加入件数、加入率は。

**答 企画調整課長**

令和4年度末で、1,137戸で、923件、81.8%。

**問**

開局に当たったの財源は、加入された方の使用料で運営できる計画だったのか。



**答 企画調整課長**

運営する財源は、使用料だけではなかった。

**問**

当初から、一般財源でも運営するということであるが、今後、高齢化が進み加入件数も減り、通信機器の老朽化も進み、交換・修繕が必要となってくるのでかなりの経費が必要となる。そのような状況の中、広域化(球磨村・人吉市等と)するような考えはないか。

**答 村長**

メリット面において一点目は、難視聴地域が点在していて、難視聴に伴うアンテナの管理が大変であった。二点目は、コミュニティチャンネルを作つて、山江村の情報を村民に発信していく、議会の生放送もでき、政治が身近になるといふ利点もある。インターネットもできる。三点目は、コロナ禍の中におい



**問**

山江温泉ほたるの今後の運営・経営方針については、年々、補修等の工事に経費(一般財源)が増え続けており、県内においても閉館しているところもあるが、社長として、民営化等の考えは。

**答 村長**

民営化について、できれば、専門家の人にとりあえずはある。もし、そういう方がおられたら、お譲りしてもいいのではと思う。



※他に「小中学校の熱中症対策について」質した。



赤坂 修 議員



・山江村鶴さん・亀さん応援  
手当支給条例について  
・清流万江川の景観整備  
について

鶴さん・亀さん  
応援手当支給条例  
の目的は？

問

高齢化が進む中、交通手段を持たない高齢者、独居老人世帯等考慮して、毎年申請書持参ではなく、自動口座振り込みは、できないのか。

答 健康福祉課長

高齢化が進む中、自分でできることは自分でしていただきたいという思いと支援が必要でない方もおられる中、村の財源を活用する手当なので、現状の申請方式でいく。

清流万江川の復活  
に向けて

問

親水公園整備構想の進展は。



答 企画調整課長

今現在構想については、山江村総合公園検討委員会と協議を進める準備段階である。

問

親水公園整備に向けて景観を阻害する雑木の伐採や砂防えん堤の新設や既存の砂防えん堤の整備など、県の整備が完了する令和13年を見据えた親水公園整備構想も含めて協議してもらえるのか。

答 村長

山江のシンボルの川として、また、人吉球磨のシン

ボルの川でもあるが、まだ具体的にその形が見えていないので、形が見え次第、提案をしていきたい。

問

令和2年7月豪雨災害の復旧工事を進めていく中で何回か大雨が発生し、工事現場の仮設道路が増水により崩壊流出し、使用されていた大型土のうやバリケード、ブルーシートなどが流され清流万江川のいたる所に漂着しているのを確認されているのか。

答 建設課長

万江川、また支流の、どの場所にも資材が漂着しているのか具体的に確認していないので現地を確認して調査したい。

問

ホタルが乱舞し、村内外から沢山の人が訪れる清流万江川の復活、水に親しむ環境作りを位置づけとして、親水公園の整備構想に

取り組む上で景観を損ねる産業廃棄物の撤去回収を進めていくのか。

答 建設課長

工事中であれば工事業者、河川であれば河川管理者での回収となり、県とも協議をしながら回収について検討したい。

答 村長

非常に頭が痛い問題で河川工事を発注した村であるのか、受注した業者がするののか、河川管理者である県とするののか、経費については誰が負担するのか検討していかなければならないので即答できないが、万江川の景観環境というか、村民の誇り、万江地区住民にとって大事にされている川であるののでしっかり対応していく。







久保山 直巳 議員

# ・土石流警戒区域の防災対策について ・今後の中山間地の制度事業に 関わる本村の方向性について ・県道沿い通学路等、 安全確保について



大王谷水路

**問** 土石流警戒区域の防災対策について

**答** 大王谷水路、令和2年7月豪雨時に住宅付近が越水している。上流部から西田川までの土石流防止等の対策が必要と思われる。下流付近住宅地の安全確保をお願いしたい。

**答** 建設課長

この地域については最近多くの住宅が建設され、居住者も増加傾向にあり、集落の安全安心な暮らしを守り、防災対策を測る観点からも、排水路対策の整備は必要ではないかと村でも考えている。

**問** 今後の中山間地の事業に関わる本村の方向性について

**答** 将来の山江村の農業、農村の在り方と今後の対応を伺う。

**答** 企画調整課長

農村を核とした産業振興と適正な農地保全及び地域課題の解決に向けて、様々な関係者が参画し、協議する組織として、農村RMOへの取組みを検討している。農村集落の農村RMO形成事業との関連性は、今のところ直接的には関係ないが、形成事業の枠組みが固まってくると、やはり拠点となる施設が必要になってくると思う。（物産館などの機能をもった施設）

**問** 県道沿い通学路等、安全確保を！

**答** 1分団詰所、新住宅地付近の横断歩道設置できないか。

**答** 総務課長

警察署からは設置は難しいと意見をいただいている。今後、要望し続けていく。

**問**

堂園新住宅地からタクシー事業所間のグリーンベルトの設置できないか。

**答** 総務課長

横断歩道と併せて要望していく。

**問**

安全面と衛生面を考慮し山江村婦人会館青年会館敷地のアスファルト舗装等できないか伺う。（小中学生登下校時トイレ利用）

**答** 村長

現在、衛生面での問題は発生していない。今後は、衛生面とかで課題が出てきたら検討する。

## 【県道沿い通学路等の安全確保を！】





西 孝恒 議員



・大雨時の道路冠水対策について  
・有害鳥獣類被害対策について

大雨時の道路冠水対策と通学路の状況把握は如何に

問

毎年梅雨や大雨の時、側溝が溢れるところの万江小近くの県道であるが、側溝が浅くなっているところがあるため、点検や砂利を浚える事について県への要望は。

答 建設課長

県に確認したところ、側溝内に石など溜まっているところや、集水枘の土砂堆積は整備を年度内に行いたいとのこと。またその後の



大雨後の県道 17 号線

対応として村としても県に状況報告や要望をしたいと考える。

問

通学路の状況把握として、教育委員会、学校、PTA、駐在さんなどによる合同視察後の改善例について。

答 教育課長

通学路点検箇所については、事前に保護者から情報を挙げてもらい、その箇所を関係者で確認を行っている。令和5年度は、山田地区14箇所、万江地区6箇所を実施した。主な対応状況

は、大型車の急ぐ車が多く危険である意見については、工事用車両については発注業者に対しそれぞれ注意喚起の回答があった。村民の方にも通学路や登下校の時間帯には、減速など安全運転をお願いしたい。また路側帯が狭く危険なところは、路面標示に減速帯の追加を検討すると県からの回答があった。今後も関係機関と協議調整を図っていく。

有害鳥獣類被害について

問

有害鳥獣類対策の中で特にサル対策用囲い罠の活用について。



答 企画調整課長

令和4年度サルは31頭捕獲されていて令和2年度からすると3倍強の増加となっている。サルへの対策については、捕獲方法を含め現在検討を行っている。大型の囲い罠の設置も検討しているが、まずはサルの生息行動把握が重要な為その調査を進めている。現在のサルの目撃情報の提供を回覧で配布している。囲い罠も有効であるが、今回獣害対策の講演をされた東大教授等、助言を受け取り組みたい。



万江川の風景





横谷 巡 議員

# ・ 高齢者等一人暮らしの 見守り支援策は！ ・ 農業・畜産の振興に 新たな形の施策を！



**問** 孤立死等を防ぐための地域と行政の連携による防止対策は

**答** 健康福祉課長  
人と人のつながりというこれ以上の強固な見守り体制は他にないと考え、これまで同様に地区区長、住民皆様、民生委員、ボランティアの方々、社会福祉協議会との連携を更に密にし、見守り体制の輪を広げていきたい。

**問** 持続可能な農業への取り組み支援を

**答** 産業振興課長  
農業経営が危機に瀕している。持続可能に向け、受け手農家を核とした育成を図り、農業農地を守る新たな仕組みをつくり、農業現場の実情に即応した振興策の考えを伺う。

また新たな「農村型地域運営組織」により、農地保全、地域資源活用、生活支援など中山間地の農業集落を支援する制度を活用し、受け手の育成や農業法人の設立など、他に先んじた取り組みを考

**問** 厳しい畜産農家への支援について

**答** 産業振興課長  
農業の大きな柱である畜産は、いま飼料の高騰、子牛価格の下落、市場の環境変化、畜産農業協同組合の合併等により、厳しい経営危機に直面し、畜産離れの傾向がみられる。畜産農家の存続に向けた支援策の考えを伺う。



稲刈り作業



肉用牛の飼育



**答** 産業振興課長  
子牛価格は下落し、飼料価格は通常価格の1.5倍程度の上昇で、畜産経営を圧迫している。農家はこの現状を乗り切るため、懸命な経営努力をされており、畜産をはじめとする農業全般に対する支援策を講じていきたい。



白川 俊博 議員



・地域見守りの状況

・委託業務の現状と処遇

高齢者の見守り・  
認知症問題を伺う

**問** 本村における高齢者及び一人暮らしの世帯などの近年の状況は。

**答 健康福祉課長**

令和3年度、高齢者164世帯、独居198世帯、高齢化率35・1%。令和4年度、高齢者182世帯、独居203世帯、高齢化率35・9%。令和5年度、高齢者181世帯、独居209世帯、高齢化率36・2%。

**問**

高齢者等の健康状態の把握は。

**答 健康福祉課長**

保健師や看護師が自宅を訪問事業で健康状態の把握に努めている。

**問**

高齢者の相談や見守り、在宅福祉サービスの生活支援事業など活動実績を伺う。

**答 健康福祉課長**

公民館事業において全地区介護予防健診事業を行っている。また社協の活動において、全ての行政区で見守り協力隊員による日常的な見守り、その他民生委員、主任児童委員の訪問や見守りにも協力を頂いている。

**問** 近年情報通信技術が発達している、AIなど人工知能を活用した取り組みなどの検討はないか。

**答 村長**

山江村はICTをいかに活用するかということに取り組んできた。今後、山江型の地域運営組織を創って行く。いま村民はデジタル活用による地域変革という方向に向かっております。更にAIをいかに活用するかということを積極的に取り組んでいく。

**問**

高齢者の見守りと併せて認知症への予防対策への取り組み状況など伺う。

**答 健康福祉課長**

タブレット端末を使った脳トレゲームなど公民館事業で全地区で介護予防健診事業を行っている。認知症カフェなど情報交換も行っている。



公民館事業でのパソコン教室

**問**

予防対策はもちろんだが認知症を患い不明者が発生した場合

などの対応対策を問う。

**答 健康福祉課長**

認知症サポーター養成講座を毎年度実施し認知症に対する理解を深め、優しい村づくりを継続して行く。

**交通指導員・区長・  
区長代理者の委託料  
改善を伺う**

**問**

村から委託を受け活動している交通指導員の活動実績を伺う。

**答 総務課長**

令和4年度では毎月の安全日の早朝街頭指導、祭りなどのイベント、春秋・年末年始の運動期間、小学校の安全教室など51日間出動。

**問**

今年度からイベント等が開催される。例年のような交通指導体制を要請されるのか。

**答 総務課長**

以前の出勤回数に戻る。交通指導員の方へ出勤要請をお願いする。

**問**

今年度も含め、今後出勤回数も増えると思われる。委託料の改善等の考えはないか。

**答 総務課長**

現在支払っている委託料の金額は、近隣の市町村でも高い方、しかしながら費用弁償を別に支払っている市町村もある。今後の支給のあり方、金額の改定について検討する。

**問**

区長、区長代理者の委託業務について。コロナ感染拡大防止や災害からの復旧・復興の中、仕事となる業務量などは最近変化したのか。

**答 総務課長**

お願いしている業務は変わらない。しかし地区の行事とか判断など、それぞれ打ち合わせなど増えたと思う。

**問**

委託料は以前委嘱を受けていた報酬と同額となっているが、基本額・戸数割額に加え班数や広さなど地域実情を考慮した諸手当の考えはないか。

**答 総務課長**

委託料については、他の町村の支払い基準を参考に検討する。



児童を守る交通指導員の街頭活動



## 令和5年第7回 山江村議会定例会

令和5年9月11日から15日までの5日間、第7回定例会が開催され、報告1件、承認1件、同意2件、認定7件、議案11件が可決されました。

### ◆一般会計補正予算

#### 質 疑

西議員

○温泉センター配管清掃委託料の支払い方法は。

西議員

○万江体育館の施設照明機器リース料について

白川議員

○消防IP無線機器機能強化事業について、当初では地方債を活用すると聞いていたが。

横谷議員

○防災トイレの概要について

#### 答 弁

企画調整課長

1. 委託業者と契約し、完了したら支払う。物価高騰のため、増加している。

教育課長

2. 9月までは自然休養村管理センター費で支払う。リースは5年間の60回払い。

総務課長

球磨川水系防災・減債ソフト対策事業補助金の交付が決定したので、財源の組替えをした。

総務課長

役場駐車場横に設置するもの。車上での避難にも対応できるよう、シャワー室の設備、備蓄倉庫も兼ねた防災トイレの工事請負費。財源は緊防債。

## 令和5年度町村議会広報研修会

令和5年度町村議会広報研修会が令和5年9月26日～27日に日経ホール（東京都）にて開催されました。法律知識や広報誌づくりのポイント等の講義を受講してきました。





# 議員活動の一コマ



## 山江村議会行政視察研修

行政視察を令和5年10月3日～4日、大阪府及び京都府にて行いました。今年度は、「バイオ炭」の仕組みについて、立命館大学にて柴田教授による説明を受け、その後「バイオ炭」を活用した農業用地や施設を研修してきました。



### だんだんなあ

今年も、収穫の秋が終わり農家の方は、一段落ではないでしょうか。水稲の収量は例年並み、いやそれ以上であったとも聞きます。しかしながら本村の特産品である栗については、昨年より収量が少なく栗生産農家への影響は大きかったようです。原因として挙げられるのが、開花時期の天候や夏の生育期間の高温などなのか、何れにせよ近年の温暖化が原因と思われる。

その温暖化の影響は今年の台風にも、9月の台風発生は2個という、気象庁の1951年統計開始以来最小記録だそう。現在はスマホで手軽にピンポイントで気象情報が手に入る時代、前線による大雨や局地的な豪雨と比べ台風は予想し易いとも言われています。台風は災害を引き起こす原因ともなるが、水が必要な地域に雨を降らせたり、水温が高い海面や高温の大気を拡散するのも多少必要ではないだろうか。

季節はやがて実りの秋から冬へと変わって行きます。今年の冬は例年になく寒いのか、いや暖冬なのか、ともあれ自然の生態系を維持して行く為には、やっぱり寒い冬は必要なのです。

近年の異常気象も予報に基づき事前の対策をとれば、それぞれ被害は最小限にすることができ。様々な情報発信元を活用し、温暖化と進んでいる自然の驚異の変化に対応して行くようではありませんか。

(文責 白川 俊博)

【山江村議会広報編集特別委員会】

- 委員長 本田 りか
- 委員 白川 俊博
- 久保山 直巳
- 北田 愛介